Singing, Dancing, and Music in Art

特別企画展

歌舞音曲の美術

2026.12.12(土)
→ 2027.1.24(日)

休館日：月曜日（ただし1月11日〈祝〉は開館し、翌12日〈火〉が休館）、
年末年始（12月28日〈月〉～1月4日〈月〉）

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料：一般 630円／高校・大学生 420円／小学・中学生　無料
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料
※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

初公開



石上神宮社図模本（部分）　江戸時代後期　大和文華館蔵

大和文華館
奈良・学園前
THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN | NARA・GAKUENMAE

天保踊図屏風（部分）　一酔斎泉蛙筆　江戸時代後期　京都文化博物館蔵



Singing, Dancing, and Music in Art

特別企画展

歌舞音曲の美術



京奈名所図扇面冊子（東福寺）
江戸時代後期　大和文華館蔵

初公開



阿国歌舞伎草紙（念仏踊）　桃山時代　大和文華館蔵



翁・千歳・三番叟図　狩野章信筆　江戸時代後期　個人蔵

本展では絵画作品を中心として、日本美術で歌舞音曲がどのように表されてきたのか見ていきます。琴や笛といった楽器は人々の間で好まれ、演奏技術がたしなみとされる側面もありました。絵画にも楽器を手にした姿で描かれる人物が出てきます。また、祭礼を描いた作品でも楽器を演奏する人物が見られますが、演奏や舞は日常を離れたハレの場の演出としても重要な役割を果たしていました。さらに、芸能は大衆の娯楽としての役目も担っており、江戸時代初め頃に成立したとされる歌舞伎を描いた図や、名所絵の中で踊る人の姿には、芸能の華やかで楽しい側面が凝縮されています。ときに、新しい年の平穏や喜びを祈るために用いられることもあった歌舞音曲の美術をお楽しみください。

How have dance and music, important elements adding color to festive occasions, been represented in artwork? Welcome to the dazzling world of paintings depicting the performing arts.

◎特別講演　12月20日(日)午後2時・講堂
「石上神宮の歴史と祭礼」
石上神宮宮司　道上昌幸氏

◎日曜美術講座　1月17日(日)午後2時・講堂
「踊りに込められた願い」
当館学芸員　仁方越洪輝

◎講座 美術の窓　12月13日(日)午後2時・講堂
連続講座「江戸後期の浮世絵」
第4回「渓斎英泉・・・凄艶美といえば」
当館館長　浅野秀剛

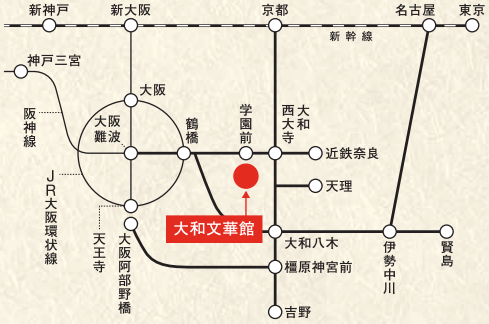
※いずれも定員当日先着100名（予約不要）

◎列品解説
毎週土曜日 午後2時　当館学芸部による

◎無料招待デー
1月15日(金)



近鉄・奈良線（学園前駅）下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館

奈良・学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL（0742）45-0544　FAX（0742）49-2929
近鉄・奈良線（学園前駅）下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ
https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/
@yamatobunkakan
@yamato_bunkakan